

たいし

第144号

議会だより

発行/太子町議会 編集/議会広報委員会

臨時会 新しい議会構成決まる

p 1 ~ p 3

平成25年9月定例会で決まったこと

p 4 ~ p 7

5議員が町政を問う (一般質問)

p 8 ~ p 10

議会のうごき

p 11 ~ p 12

新しい議会構成決まる



平成25年10月23日に第1回臨時会が招集され、正副議長の選挙、常任委員会、議会運営委員会などの各委員の選任が行われました。

就任あいさつ

議長 (第39代)

森田 忠彦



副議長

田中 祐二



監査委員

山田 強



私たちは、この度10月23日の臨時会におきまして議長、副議長、監査委員(留任)に就任致しました。まことに光栄でありますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

さて、思い起こしますと、先の東日本大震災を始め、例年のように豪雨土砂災害等が頻繁に発生しております。特に京都嵐山での水害は私たちの身近にも災害が発生するという事を思い知らされました。

そのような中、太子町におきましても、基礎自治体として、安全・安心のまちづくりを進めていくことは大きな課題であり、議会といたしましても、多くの住民の皆様の付託に応えるべく、議会運営に日々、努めているところであります。ようやく上向き始めたと思われる国内の経済状況ではありますが、先を見据えた町政運営に、全力で取り組んで参りたいと思っております。

今後とも、皆様方のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

常任委員会

委員

総務まちづくり 常任委員会

総務室・住民室・
出納室・地域整備室・
生活環境室及び議会
事務局に関する事項

中村 直幸
寺町 幸雄
田中 祐二
山田 強
森田 忠彦

予算常任委員会

一般会計の予算(補
正予算も含む)に関
する事項

委員長

副委員長

委員

寺町 幸雄

副委員長

田中 祐二

委員

羽山 茂男
中村 直幸
松永 満
阪口 寛
西田いく子
村井 浩二

羽山 茂男
田中 祐二
山田 強
建石 良明
森田 忠彦

福祉文教 常任委員会

福祉室・健康医療
室、及び教育委員会
に関する事項

委員長

村井 浩二

副委員長

西田いく子

委員長

田中 祐二

決算常任委員会

一般会計の決算に
関する事項

委員長

田中 祐二

副委員長

委員

建石 良明

羽山 茂男

中村 直幸

松永 満

寺町 幸雄

阪口 寛

西田いく子

村井 浩二

森田 忠彦

議会運営委員会

議会が円滑に進む
よう議事日程や運営
等を協議します。

委員長

建石 良明

副委員長

阪口 寛

委員

羽山 茂男

中村 直幸

寺町 幸雄

村井 浩二

広報委員会

『議会だより』を
作成し、発行します。

委員長

西田いく子

副委員長

松永 満

委員

村井 浩二

田中 祐二

山田 強

森田 忠彦

組合議会議員

南河内 環境事業組合

寺町 幸雄



会派構成

◎ 幹事長
○ 副幹事長

政友クラブ

◎ 建石 良明
○ 山田 強
田中 祐二
森田 忠彦

日本共産党

◎ 阪口 寛
○ 西田いく子

公明クラブ

◎ 羽山 茂男

太政クラブ

◎ 中村 直幸

新風クラブ

◎ 寺町 幸雄
○ 松永 満

ふたかみ会

◎ 村井 浩二

※会派とは、議会内に結成された議員の同志的集合体
のことをいい、太子町では、6会派あります。

各種委員・協議会等委員

都計審・農振整促協	上水道事業運営審議会	ゴルフ場環境保全協議会
田中 祐二	松永 満	羽山 茂男
山田 強	阪口 寛	森田 忠彦
村井 浩二	交通事故をなくす運動推進協	国民健康保険運営協議会
介護保険事業計画推進	中村 直幸	西田いく子
建石 良明	松永 満	建石 良明
人権尊重のまちづくり審議会	寺町 幸雄	保健事業推進協議会
羽山 茂男	村井 浩二	阪口 寛
表彰審査会	学校給食運営委員会	献血推進協議会
田中 祐二	西田いく子	寺町 幸雄
人権協会	民生委員推薦会	山田 強
森田 忠彦	中村 直幸	

第1回臨時会

選任同意

任期満了に伴い全会一致で選任に同意しました。

●教育委員会委員

増田 和一氏

【任期】平成25年11月21日から29年11月20日まで。

平成25年第1回臨時会 議決結果一覧表

件名	結果
議長選挙	投票
副議長の選挙	投票
常任委員会委員の選任	選任
議会運営委員会委員の選任	選任
南河内環境事業組合議会議員の選挙	選挙
教育委員会委員の選任について同意を求める件	同意

平成24年度 各会計の決算状況

平成25年度
9月定例会



黒字を確保し、健全財政を維持

Table with 4 columns: 会計名, 歳入決算額, 歳出決算額, 差引額. Rows include 一般会計, 特別会計 (国民健康保険, 山田財産区, 春日財産区, 下水道事業, 介護保険, 後期高齢者医療), and 水道事業会計 (収益的収支, 資本的収支). Total: 78億4771万8千円 vs 77億6413万4千円.

※水道事業会計の収益的収支の実質収支は、損益計算書による純利益です。また、資本的収支の差引△7191万6千円は、内部留保資金等により補てんしています。
※小計及び合計は表示単位未満四捨五入のため、各会計の合計と一致しない場合があります。

平成24年度 積立金現在高

平成24年度 地方債現在高

Table with 2 columns: 基金名, 金額. Rows include 財政調整基金 (13億4161万4千円), 減債基金 (781万円), 特定目的基金 (退職手当基金, 老人福祉基金, etc.), 他基金等 (国民健康保険事業財政調整基金, etc.), and 合計 (25億5208万7千円).

Table with 2 columns: 債種, 金額. Rows include 一般公共事業債 (3407万円), 一般単独事業債 (8億2101万2千円), 学校教育施設等整備事業債 (3億6164万円), 厚生福祉施設整備事業債 (0円), 臨時財政対策債 (26億115万円), 大阪府貸付金 (1億3846万7千円), その他 (5億759万円), 他債務等 (下水道事業公債費, 水道事業企業債), and 合計 (76億1297万6千円).

Table with 2 columns: 件名, 結果. Items include 平成24年度決算認定 (一般会計, 国民健康保険特別会計, etc.), 平成25年度補正予算 (一般会計(第2号), 国民健康保険特別会計(第1号), 介護保険特別会計(第1号)), 条例改正 (太子町まちづくり観光交流センター設置条例制定の件), その他 (土地開発公社解散の件, etc.), and 平成24年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件.

第3回定例会 議決結果一覧表

13万4千円

は、どう使われたのか

万4千円の黒字決算

実質収支も1億1243万1千円の黒字



中学校体育館耐震化



小学校図書室エアコン設置

まじことなことを決めました

9月定例会は、9月3日から、25日までの23日間にわたり開会されました。町長より平成24年度一般会計歳入歳出決算認定、ほか条例改正等の議案が提出され、それぞれ可決・認定・同意されました。



一般会計

【監査意見】(要旨)

決算書、諸帳票、関係書類、基金運営状況調査書のいずれも適正。

歳入歳出決算額は、前年度に比べ歳入、歳出とも増加し、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、1億1243万867円の黒字決算となつています。

歳入は、年少扶養控除の廃止に伴う町税の増収、また地方交付税の増収が増加の要因となつています。一方、歳出では、中学校体育館の耐震化等の普通建設事業費や、物件費、補助費の増加はあるものの、職員の退職者数

の減による人件費の減少や、交際費の減少により、増加幅が抑制されています。

歳入に占める自主財源の比率が年々低下傾向にある中、町税収入の更なる徴収率の向上と適切な債権管理のもと、不能欠損処分額の抑制に引き続き万全を期し、事業の実施にあたっては、限られた財源の効率化・効果的な活用によりまして、住民サービスへの十分な対応と向上に取り組みされることを望みます。

監査委員

池端 繁治
山田 強

質疑

問 正職員と嘱託職員やアルバイト職員の人員の配置の考え方は。

答 過去に正職員は最多で144名いたが現在113名。嘱託職員

の雇用と簡易な事務作業を担う為のアルバイト職員の雇用も進めてきた。住民サービスの向上を目指す為には国の基準ではなく太子町の行政に必要な職員数を確保することを考えている。

問 税金のコンビニ収納の成果は。

答 昨年12月から実施しており、今年度は8月末までで全体の約2割の方が利用されており、納付窓口のサービス向上が図れたと考えている。

問 ブドウ塾卒業生の援農隊とNPO団体の活動内容は。

答 367名の卒業生の内、援農隊の登録が5班・80名。高齢化している農家への作業支援活動、約1haのブドウ園を自主管理。NPO団体は、援農隊の主要メンバーと農家の卒業生を中心に結成され、農家の高齢化の対策に取り組んでいる。

問 地域見守り隊と、役場と民生委員等との情報の共有は。

答 見守り隊は独居老人を主に見守ってもらっているボランティア約90名。地元の民生委員と役場高齢介護グループと情報交換し、見守りの活動を行っている。

問 スクールソーシャルワーカーの効果は。

答 1名、主に磯長小学校に配置。相談で多かったのは児童虐待、友達関係等。いじめ等の未然防止を含めた指導をし、小学校の生徒指導体制の組織化に寄与している。

平成24年度 決算認定

総額77億64

24年度一般会計1億1577

平成24年度 主な実施事業

町道維持管理事業（太井川1号線・御陵道線ほか道路維持工事）
中学校体育館の耐震化／小学校図書室のエアコン設置
福祉センターのエレベーター改修／中学校終了時までの通院助成
妊婦健診公費助成の拡充／水痘・おたふく風邪ワクチン接種費用助成
自主防災組織の育成強化／「まちづくり・観光協会」立ち上げ／など



自主防災組織の活動

討 論

【反対】安倍政権が進める「社会保障と税の一体改革」は、社会保障を切り捨て消費増税を押しつけるもの。長引く経済不況など国民のくらしが脅かされるもと、いま国に求められているのは、地方自治体が、「住民の福祉の増進を図る」ための財源を保障することにある。

町では、子どもの医療費助成の拡充、中学校体育館の耐震化など、一定の施策が前進しているが、介護保険料、上下水道料金や国民保険料など公共料金の高さが住民のくらしを大変にしている。公共料金の引き下げ、農工商業の活性化、年をとっても交通手段を確保するなど、いつまでも住み続けられるまちづくりを求め反対する。

【賛成】不透明な景気動向から、税収の伸びが期待できず、自主財

源も減少する中、安全安心なまちづくりの推進に向けた予算執行されたものと考ええる。生活道路の整備、中学校体育館の耐震化や、福祉センターのエレベーター改修など施設整備や中学校終了時までの通院助成並びに妊婦健診公費助成の拡充、自主防災組織の育成強化、「まちづくり・観光協会」を立ち上げる等多岐にわたる施策を展開した上で、黒字を確保し、健全財政を維持したことは一定の評価に値する。

今後、住民目線に立った町政運営に努め、次世代への負担を強いることがないように。住民ニーズに的確に対応し、更なる創意と工夫に努めるよう求め、賛成する。

国民健康保険

質 疑

【問】子ども医療制度の町独自施策に対する国庫補助のペナルティ額はどれくらいか。

【答】平成24年度決算では年度途中からの子ども医療制度開始の為、約60万円程度。今年度通年では140万円くらいの見込みである。

※意見を付しての賛成の討論がありました。全会一致で可決されました。

介護保険

質 疑

【問】市町村へ配分後の大阪府財政安定化基金の使われ方は。

【答】介護予防事業の環境として、介護保険にかからない地域づくりの事業に対して助成されている。今回はグラウンドゴルフ場整備事業に充当している。

討 論

【反対】「保険あって介護なし」という状況が進み、安心できる制度とは言えない状況。ところが「介護保険法等改正法」は、逆に新たな給付抑制策を盛り込み利用者・家族に重大な影響を与えるものとなった。一般会計の繰り入れや減免制度の充実など安心して介護を受けることができるよう求め反対する。

【賛成】的確な保険給付に努め、財源の負担割合も適正に行われている。また、地域支援事業も介護予防事業、包括支援事業なども積極的に展開しており評価できる。今後、認定者の増加に伴い、保険給付費の増大が見込まれる。引き続き介護保険事業の運営が健全・円滑に行われ、適正な保険給付につとめることを要望し賛成する。

下水道事業

質疑

問 葉室の市街化調整区域の下水道に対するアンケートは。

答 昨年、行ったが、葉室地区居住の16%しか接続希望が無かった。

後期高齢者

【内容】

- ・24年度末被保険者数 1417人
- ・賦課限度額（最高） 55万円
- ・一人当たり（平均） 7万6370円

討論

【反対】 後期高齢者医療は、国、府、市で50%、残りの50%の40%が現役世代の支援金、10%

が高齢者の保険料。保険料は、高齢者人口増に伴って上がり、医療給付が増大すれば更に上乗せされ、値上げが続く仕組みで、今回、6・89%の大幅引き上げに。後期高齢者医療制度を廃止することを強く求め、反対する。

【賛成】 制度創設から5年経ち定着している。現行制度を基本に必要な改善がされていくものと考えている。町は、適切な事業運営をしており評価できる。

引き続き制度の円滑な運営、徴収率上昇の取り組みを要望し、賛成する。

水道事業

質疑

問 年度中の漏水について。

答 本管の漏水は無く、本管から各家庭ま

での引き込み管で4件漏水があった。また、メーターから各家庭の中の漏水は10件程度あった。

補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	1億1831万4千円	51億8862万1千円
国民健康保険	3066万3千円	17億654万7千円
介護保険	389万2千円	9億8407万4千円

●25年度一般会計補正

質疑

問 公共施設整備基金の使用計画は。

答 今後の公共施設の老朽化の調査により計画する。公民館、地区集会所、道路橋梁等の更新に備え、基金を積み立てている。

問 高規格救急車の更新計画と金額は。

答 基金を有効に活用し、26年度更新を検討。金額は、3千万円から4千万円程度。

条例制定

●太子町まちづくり観光交流センター設置条例制定の件

問 センターに常駐職員は配置するのか。

答 センターには常駐職員は配置せず、部屋の使用の申請等は現場のにぎわいまちづくりグループに出してもらおう。観光・まちづくり

協会は1階の事務所に常駐してもらう。



太子町まちづくり観光交流センター

その他

●太子町土地開発公社の解散の件

質疑

問 登記費用は。

答 解散にあたり、土地開発公社は法人の為、解散手続きにかかる登記費用は発生する。

選任同意

任期満了に伴い全会一致で選任に同意しました。

●固定資産評価審査委員会委員の選任について

大内 壽和氏

【任期】 25年9月29日
～28年9月28日。

●春日財産区管理委員の選任について

松井 勝人氏

松井 元治氏

松井 義久氏

浅野繁太郎氏

石谷 俊雄氏

初山 勝弘氏

角田 勝紀氏

【任期】 25年10月1日
～29年9月30日。

●人権擁護委員の候補者の推薦について

筒井 一太氏

明石 志郎氏

【任期】 法務大臣の委嘱後、3年。

9月定例会の一般質問

町政を問う

5人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

災害時要援護者の避難対策について…………… P 8
 「健康マイレージ」の取り組みについて …… P 8
 「いじめ防止対策推進法」の制定を受けて …… P 8
 空き家対策について…………… P 9
 生活保護基準の引き上げを…………… P 9
 外出支援事業の中間報告は…………… P 9

介護保険の充実を…………… P 9
 公共施設へ太陽光パネルの設置を…………… P 9
 安全安心な町づくりについて…………… P 10
 財政の見通しについて…………… P 10
 子育て支援について…………… P 10
 美しい町づくりについて…………… P 10

災害時要援護者の避難対策について

羽山 茂男 議員

問 災害時に自力で避難することが難しいお年寄りや障がい者など「災害時要援護者」の名簿作成を市町村に義務付ける改正災害対策基本法が国会で成立した。本町の取り組みは。

答 平成24年には「地域ぐるみの防災対策に関する説明会」を自主防災会、町会や自治会の役員さんを対象に実施し、役場の役割について話し合った。今後とも、災害に対して不安を持たれている方が、日頃から安心して暮らせるよう進めてまいりたい。

Q 「健康マイレージ」の取り組みについて

問 健康診断の受診やスポーツ活動への参加などでポイントをとめると特典を利用することができ「健康マイレージ」の取り組みが注目されている。取り組みは可能か。

答 住民の更なる健康づくりのため、また、まちの活性化につながるよう、先に実施されている市町村の例を参考に、調査・検討をしていきたいと考えている。

Q 「いじめ防止対策推進法」の制定を受けて

問 いじめ防止対策推進法が9月に施行されている。自治体に対し、「地域いじめ防止基本方針」の策定を求めている取り組みはどうか。

答 国からは「いじめ防止基本方針」が示されることとなっており、府の動向にも注視しながら、いじめ防止に向けた取り組みを進めてまいりたい。

要望 今回の改正には、避難所における生活環境の整備を明記している点である。安全性を満たした施設を確保する一方、食料や医薬品などを用意し、医療サービスの提供にも努めることを要請する。

要望 例えば、町が認めた運動教室や健康関連のイベントに参加したり、健康診断を受診したりすると、景品と交換できるポイントシステムを実施するなど、積極的な取り組みを求める。

要望 いじめの問題の解決に向けて、学校への支援の充実を図るとともに、学校、家庭、地域社会が連携を深め、社会全体で子どもの健全育成に取り組む体制を構築してもらいたい。

空き家対策について

西田くみ子 議員

問 全国の空き家数は約757万戸、空き家率は約13%。このうち、賃貸・売却の予定がなく、別荘等でもない空き家は約268万戸もある。

防犯・防犯・火災・衛生・景観・地域活性化等の面で問題の空き家対策を。太子町の空き家の戸数は。

答 府内の空き家に関するの条例制定は9市2町。水道の閉栓件数の432件を空き家と見なし、アパート等を除くと、196戸の一戸建てが空き家と想定。今後、空き家の増加も懸念され、他市町村の取り組みの調査を行い、本町にふさわしい対策を研究したい。

要望 まずは正確な実態把握を。
河内長野市では、空き家バンク制度ができた。太子町でも空き家対策を。

Q生活保護基準の引き上げを

問 安倍政権は、総額670億円の生活保護基準切り下げを計画。生活保護世帯は平均6.5%、最大10%もの引き下げ。今回の削減は、生活保護を基準として決められた太子町の就学援助や減免制度等に影響が現れるのか。今までと変わりになく減免制度等を使えるよう算定基準の見直しを。

答 国民健康保険の減免等や就学援助等があるが、今年度は影響が出ないよう取り組んでいる。財政措置を設けるよう国に働きかける。来年度以降については国の動向や府内自治体の対応等を踏まえ、検討したい。

要望 国の予算措置がない場合、町独自に算定基準の引き上げを。

Q外出支援事業の中間報告は

問 公共交通をしつかり整備すれば、医療、福祉、教育、観光、商業等への波及効果があり、暮らしやすさが進むのでは。安心して住み続けられる太子町のまちづくりの土台に外出支援を捉えて頂きたい。中間報告の報告と、今後の進め方は。

答 お達者健康チェックリストで、外出の有無、日用品の買い物状況、外出の頻度等、外出支援についてニーズの把握を行う。看護師による聞き取り調査の中で、声を聞かせて頂き、提言に反映できるよう努めたい。

要望 住民参画で地域交通基本計画等の策定し、太子町に合った外出支援策を進めることを要望する。

介護保険の充実を

阪口 寛 議員

問 安倍内閣は社会保障改革のプログラム法案を閣議決定した。介護保険では、要支援者を介護保険給付から外し、要介護1、2の人は施設から締め出す、一定以上の所得者の利用料を1割から2割に引き上げる、施設の居住費・食費の軽減措置を縮小するとしている。本町の要支援者数と軽減措置者数は。

答 今回の介護保険改定は、いずれも利用者の負担を増やし、サービスを削減し、市町村には責任を負わせるもの。町は住民に直接責任をもっている保険者として改定をどう思い、どう対応するのか。

答 要支援者数、76人。居住費・食費軽減対象者数、126人。社会保険としての介護保険制度を維持させていく事が重要。今後、国の動向を注視する。

要望 高齢化が進む中、保険料、利用料の負担増が連動する根本矛盾を解決するため、国庫負担を当面10%増やし、将来的には国庫負担を導入前の50%に戻すべき。

介護保険を運営する主体は市町村であり、利用料の減免制度の充実、必要な人が必要なだけ利用できる介護保険の拡充を求める。国に制度改悪を許さない強い働きかけを要望する。

Q公共施設へ太陽光パネルの設置を

問 公共施設の改修・新設の際は自然エネルギーを積極的に活用できる機会。本町は水道ビジョン及び事業基本計画が本年度策定される。本町は7割以上自己水を確認しているが、水道料金は府下でも高い方。地形からくる動

答 水道事業費の電気料金は約1千770万円、費用を軽減するため、小水力発電の有効な場所がない。太陽光発電は、費用対効果を研究する。中央配水池の未利用地は、約700m²である。

力費が平地の市町村に比べて高くつくとのこと。災害時の動力源の確保、料金抑制のため、省エネ、自然エネルギーの導入を図るべき。施設への太陽光パネル設置や水の流れるところは小水力小型水力発電可能ではないか。中央配水池の南側に未利用地があるがその広さはどれくらいか。

要望 太子町の水道事業は何よりも住民の暮らし最優先で、自然エネルギーの活用、料金の引き下げができる、基本計画を策定するよう要望する。

安全安心な町づくりについて

村井 浩一 議員

問 今年の夏は連日猛暑日が観測され、涼しい夜間に町内をウォーキングし、楽しまれ、健康づくりに励まれている住民の方や、又、昨今の社会情勢の中で町外、大阪市内でお仕事をされている女性の住民の方、そして、学校の部活動、又は塾に通学され、夜遅くまで頑張っている多くの青少年の姿をよく目にす

答 凶悪な犯罪が多発し、交通問題等懸案事項が山積しており、まず、防犯灯の設置による積極的な防犯対策を求めるが、町の見解を求め

問 防犯灯を設置することにより、夜間の犯罪率は低下することが統計的にも明らかになっており、太子町としても防犯対策として防犯灯の設置の必要性を強く感じる箇所が、町会・自治会に属する場合はあくまでも設置の必要性の有無は町会・自治会に委ねているのか？

答 防犯灯設置場所が町会・自治会に属さない場合は、町が直接設置。町会・自治会に属する場合は、当該町会・自治会の判断により設置。その費用の一部を町が補助する制度。

問 総合的な防犯対策には地域住民・関係団体・行政による協働が

また、国道166号線の春日西交差点から上ノ太子駅前までの太子町区域については、

不可欠だと考え、地域住民による「一戸一灯運動」等の施策を実施し、地域の安全は地域住民・関係団体と行政が一体となり、地域住民が積極的に参加して頂き、新たな協働防犯対策の実施等を計画されては如何か？

答 「一戸一灯運動」とは、夜間に各家庭の門灯や玄関灯を点灯して、住宅街の暗がりではなくそうという運動であり、仕事帰りの女性や部活動、塾帰りの子どもを狙う痴漢やひったくり等の犯罪を遠ざけることが出来、加えて、自宅への侵入盗防止にもつながるといことで、近隣では河内長野市、大阪狭山市でも取り組まれている運動である。

問 先進市の状況等を調査し、地域と共に取り組めないかを検討して参りたい。

答 引き続き黒字決算。以前の危機的な財政状況からは一定脱することができたが、依存型の財政構造では、国や府の施策と外部要因による影響を大きく受ける。そのリスク回避をいかにマネジメントするかが今後の町政運営に課せられた責務。

財政の見通しについて

田中 祐一 議員

問 平成24年度の決算を踏まえ、現在の町財政の現状の認識についてどう考えるのか？単に歳出の見直しではないとのことだが、新たな行財政プラン作成の基本的なスタンスは？

答 確保し、安定したサービス給付が行われるよう一定の方向性を示した指針とする。

問 公共施設の整備は、保全計画や道路、橋梁の長寿命計画策定中であり、施設改修等に要する経費、将来見通し等を検証し、基金の活用を図り、他のサービスに支障がないよう計画的に整備を行いたい。

問 美しいまちづくり条例を制定したが、ごみ等のポイ捨てがまだまだ後を絶たない。そこで、自ら手を挙げて頂いた方に、町がごみ箱を貸し出し、その管理をお任せする制度を創設してはどうか？

答 子どもの貧困は、お金がないという単純な問題ではなく、家庭が社会的に孤立しがちであり、子どもの健やかな成長を阻害するこ

問 住民の意識啓発にもつなげる制度であると認識するところであり、先進市町村の状況を調査し、検討する。

答 子どもの貧困は、お金がないという単純な問題ではなく、家庭が社会的に孤立しがちであり、子どもの健やかな成長を阻害するこ

問 美しいまちづくり条例を制定したが、ごみ等のポイ捨てがまだまだ後を絶たない。そこで、自ら手を挙げて頂いた方に、町がごみ箱を貸し出し、その管理をお任せする制度を創設してはどうか？

答 住民の意識啓発にもつなげる制度であると認識するところであり、先進市町村の状況を調査し、検討する。

議会のうごき

研修報告

政友クラブ ふたかみ会

東日本大震災が発生するまでは原発を意欲された方は少なかったでしょう。その後、福島原発の汚染水漏れが現在も続き、原発再稼働、脱原発と国論が2分されている中、10月9日、福井県おおい町にある関電おおい原子力発電所を視察しました。

おおい町は町域の90%を占める山林と若狭湾国定公園に面し、豊かな自然に囲まれた人口約8千400人の町で特産品は自然薯であります。

電源3法交付金は、過去、35年間で360億円。目立った産業のないこのまちには原発との共存が不可欠であったでしょう。さて、おおい原発へ。現在、運転を停止してありますが、再稼働に向け、定期点検中であります。昭和54年から平成5年迄に1号機から4号機が設置され、電気出力471万キロワット、関電では最大の発電量。まず、一般見学者用の(おおいり館)へ。原子炉建屋内を3分の1の大きさで再現、発電の仕組みを説明されました。いよいよ発電所構内へ。テロに備えた厳しいチェックを受け、原子炉建屋内で、厚さ300ミリのガラス越しのシースルー見学。燃料保管庫、青いプールの中に使用済み燃料を保管。次にプレストレストコン

クリート製方式の原子炉格納容器。大きな事故や地震の発生に耐える構造。次にタービン建屋、加圧水型軽水炉方式による原子炉で作った高圧の熱湯を蒸気発生器に送り、そこで別の系統を流れている水を蒸気に変えてタービン、発電機をまわっています。福島原発の沸騰水型軽水炉方式と比べ、格納容器が大きく水素爆発の危険性が少ないと言われていますが、これについてもどちらが安全か議論が分かれていきます。次に中央制御室へ。3交代24時間体制で安全運転を監視、操作しています。又、安全対策としては、自衛消防設備、非常用電源設備、免震事務棟の建設、防波堤のかさ上げ等、現時点で考え得る最善の15項目の安全対策を実施していますが、

ひとつ間違えば事故につながる事を考慮すると原発はないに越したことはないという厳しい意見もあります。

しかし、原発が日本の高度経済成長を支えてきた効用も無視できないと思います。私達はエネルギー問題全般について、議論を重ね、今後の日本経済に原発を必要悪ととらえるか否か、あるいは新たなエネルギーを開掘せねばならないのか更に深く考えていかねばならないと実感した視察でした。



おおいり館前にて撮影

正副議長等研修

去る11月1日に、

大阪府町村議会正副議長等研修会が行われました。講師は防災の専門家、関西大学社会安全研究センター長・教授の河田恵昭氏です。折しも大阪府において東南海・南海地震の被害予測が発表された直後であり、必然そのことが最初のテーマとなり、各町村の被害予測に興味を集中しました。

我が太子町においては、津波における被害予想はでていませんが、地震の揺れそのものに対する備えは常に必要であります。そして講演でもおっしゃっていましたが、我々自身の経験値で判断すると、避難しない人がたくさんいます。現にこの前の近畿の北部地

方中心に大雨に対する特別警報が発令された時に、避難行動を起こした人はごく僅かであることが分かっています。よく「太子町は良いところやから台風(豪雨)も来ないし地震も起きない」という話を聞きますが、それは根拠がありません。大災害は起こるたびに、ほとんどの人が初めての経験となるのです。今は先人のおかげで過去の資料や映像でその一端を知ることが出来ます。それらの教訓を活かし率先して避難行動することの大事さを痛感いたしました。



河田教授の話を傾聴する参加者

今年は、竹内街道敷設「1400年」



我が町 太子を全国に発信しよう!



10月19日 **竹内街道 灯路祭り** 盛大に開催



店先を彩る作品が展示されていました



妙見寺の前は、
人だかり



聖徳太子に扮した
浅野町長よりごあいさつ



3月30日の「1400年記念特別列車」から始まった『竹内街道敷設1400年』事業が、一つの区切りを迎えました。太子町を知り、古代の歴史を学ぶ意義ある一年だったと感じております。
1400年は、今年だけかもしれないませんが、1500年、1600年と続く未来にむかって、我が町太子の誇れる歴史・文化を残せるよう、町議会議員一同、今後とも住民のみなさんとご一緒に太子の良さを全国に発信してまいりたいと思います。



時折小雨がぱらつく中、時代行列は厳かに

左から
小野妹子・推古天皇・聖徳太子です



幻想的な灯に照らされて



山本家住宅
点灯式を待っています

次の定例会は、
12月に開催されます。
ぜひ、傍聴にお越し
ください。

日程については、ホームページ、
広報無線でお知らせします。

議員の香典・弔電の自粛、年賀状などの挨拶状を廃止しています

太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様への弔事に際しまして議員個人の香典等の自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。